

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 サンウッド
 コード番号 8903 URL <http://www.sunwood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 正章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画本部長 (氏名) 岡本 真人
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-5425-2661

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,984	—	2,855	—	2,625	—	1,248	—
20年3月期第3四半期	14,812	574.8	1,496	—	1,165	—	931	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	32,186.50	31,924.96
20年3月期第3四半期	25,298.91	24,806.02

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年3月期第3四半期	26,757	—	4,740	—	17.6	—	123,922.95	
20年3月期	28,027	—	3,636	—	13.0	—	93,379.86	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,711百万円 20年3月期 3,636百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	2,500.00	2,500.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7,500.00	7,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	39.3	2,600	71.9	2,300	112.8	750	△12.7	19,424.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社(社名) 除外 2社(社名 永田町プロジェクト有限責任中間法人、東京デベロップメントサード特定目的会社)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 38,940株 20年3月期 38,940株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 920株 20年3月期 2株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 38,804株 20年3月期第3四半期 36,802株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ【定性的情報・財務情報等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当り 当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	23,000	39.3	1,900	49.5	1,600	52.4	400	△56.8	10,359	71

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績の状況

	第3四半期連結会計期間		(参考)	(参考)	
	第3四半期連結会計期間 (平成20.10.1～平成20.12.31)	第3四半期連結累計期間 (平成20.4.1～平成20.12.31)	前第3四半期 (平成19.4.1～平成19.12.31)	増減(率) 〈対前第3四半期比較〉	
売上高	606	19,984	14,812	5,171	34.9%
営業利益	△142	2,855	1,496	1,359	90.8%
経常利益	△222	2,625	1,165	1,459	125.3%
四半期 純利益	15	1,248	931	317	34.1%

当社グループは、従来からの経営方針であります高品質なマンションを供給することに注力して参りました。

当社の当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）における経営成績の状況は、以下の通りであります。

売上高の主要セグメントである不動産販売事業については、平成20年4月に竣工しました分譲マンション「赤坂タワーレジデンス」、及び前連結会計年度に竣工済みの分譲マンションである「サンウッド尾山台」、「サンウッド上北沢」、「クオリア神南フラッツ」の諸物件を引き渡しました。これにより、不動産販売事業収入は196億3百万円となりました。また、その他事業については、3億80百万円を計上しました。その結果、売上高は199億84百万円となりました。これは参考として上記に記載しております前年同期と比較して51億71百万円の増加となりました。

一方、利益面では、売上原価が158億78百万円、販売費及び一般管理費が12億50百万円となったため、28億55百万円の営業利益を計上致しました。また、経常損益段階では、営業外収益98百万円、営業外費用3億28百万円を加減し、経常利益として26億25百万円となりました。特別損益段階では、9億26百万円の特別損失を計上したため、税金等調整前四半期純利益として16億98百万円、法人税等及びその調整額を加減して、第3四半期純利益は12億48百万円を計上致しました。これは、参考として上記に記載しております前年同期と比較して、営業利益では13億59百万円の増加、経常利益では14億59百万円の増加、四半期純利益では3億17百万円の増加となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における総資産は267億57百万円となり、前連結会計年度末比12億69百万円減少しました。これは、主に分譲マンション「赤坂タワーレジデンス」の引渡しに伴う、仕掛品の減少によるものであります。

負債合計は220億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億74百万円の減少となりました。これは、上述しました「赤坂タワーレジデンス」の引渡しに伴って借入金を返済したことによる減少であります。

純資産合計は、47億40百万円となり、前連結会計年度末比11億4百万円の増加となりました。これは、当第3四半期純利益の計上によるものであります。これにより、自己資本比率は、17.6%となり、前連結会計年度末と比較して、4.6ポイント上昇しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物」（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて20億7百万円増加し、43億55百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は34億35百万円となりました。

これは、「赤坂タワーレジデンス」等物件の引渡しによるたな卸資産の減少で34億33百万円資金が増加したことが主要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は20百万円となりました。

これは、敷金で9百万円、長期前払費用で9百万円それぞれ資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は14億6百万円となりました。

これは、仕掛品の増加に伴う短期借入金の借入で57億66百万円資金が増加した一方で、分譲マンション引渡しに伴う長期借入金返済で70億円資金が減少したことが主要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

連結子会社であった「永田町プロジェクト有限責任中間法人」及び「東京デベロップメントサード特定目的会社」は、当第1四半期連結会計期間において清算しましたので、子会社ではなくなりました。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

i) たな卸資産の簿価切下に関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

ii) 繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,427,061千円減少しております。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、この適用による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,855,278	2,447,715
売掛金	727	847
販売用不動産	891,128	2,317,976
仕掛品	19,367,151	22,077,743
未収入金	14,060	142,028
繰延税金資産	1,132,311	132,965
その他	38,577	75,397
流動資産合計	26,299,234	27,194,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,536	88,916
減価償却累計額	△9,203	△7,414
建物及び構築物 (純額)	80,332	81,501
工具、器具及び備品	16,962	21,301
減価償却累計額	△11,085	△11,805
工具、器具及び備品 (純額)	5,877	9,495
土地	68,732	68,732
リース資産	2,725	—
減価償却累計額	△181	—
リース資産 (純額)	2,543	—
有形固定資産合計	157,486	159,730
無形固定資産	14,064	1,051
投資その他の資産		
長期預金	—	400,000
投資有価証券	163,000	163,000
繰延税金資産	30,737	18,244
その他	92,898	90,667
投資その他の資産合計	286,635	671,912
固定資産合計	458,186	832,693
資産合計	26,757,420	28,027,369

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年3月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	325,403	765,109
短期借入金	6,400,000	634,000
1年内返済予定の長期借入金	8,100,000	9,400,000
未払法人税等	1,162,581	643,070
前受金	1,554,361	1,940,330
引当金	14,076	74,728
その他	562,417	1,357,895
流動負債合計	18,118,840	14,815,133
固定負債		
長期借入金	3,840,000	9,540,000
引当金	39,289	34,111
その他	18,457	2,100
固定負債合計	3,897,747	9,576,211
負債合計	22,016,587	24,391,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,817	1,266,817
資本剰余金	1,115,617	1,115,686
利益剰余金	2,404,701	1,253,826
自己株式	△75,585	△304
株主資本合計	4,711,550	3,636,025
新株予約権	29,282	—
純資産合計	4,740,833	3,636,025
負債純資産合計	26,757,420	28,027,369

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	19,984,456
売上原価	15,878,394
売上総利益	4,106,061
販売費及び一般管理費	1,250,771
営業利益	2,855,289
営業外収益	
受取利息	3,532
違約金収入	79,641
その他	15,377
営業外収益合計	98,551
営業外費用	
支払利息	325,375
その他	3,030
営業外費用合計	328,406
経常利益	2,625,434
特別損失	
解約違約金	923,898
その他	2,884
特別損失合計	926,782
税金等調整前四半期純利益	1,698,651
法人税、住民税及び事業税	1,461,506
法人税等調整額	△1,011,838
法人税等合計	449,668
四半期純利益	1,248,983

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	606,124
売上原価	488,465
売上総利益	117,659
販売費及び一般管理費	260,285
営業損失(△)	△142,626
営業外収益	
受取利息	38
その他	79
営業外収益合計	118
営業外費用	
支払利息	79,107
その他	390
営業外費用合計	79,498
経常損失(△)	△222,006
特別損失	
その他	11
特別損失合計	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△222,017
法人税、住民税及び事業税	△141,225
法人税等調整額	△95,966
法人税等合計	△237,191
四半期純利益	15,173

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,698,651
減価償却費	5,571
引当金の増減額 (△は減少)	△55,472
受取利息及び受取配当金	△3,532
支払利息	325,375
解約違約金	923,898
売上債権の増減額 (△は増加)	120
販売用不動産の増減額 (△は増加)	1,426,848
仕掛品の増減額 (△は増加)	2,006,694
未収入金の増減額 (△は増加)	127,968
仕入債務の増減額 (△は減少)	△439,705
前受金の増減額 (△は減少)	△385,968
その他	△706,958
小計	4,923,490
利息及び配当金の受取額	3,537
解約違約金の支払額	△220,000
利息の支払額	△330,498
法人税等の支払額	△941,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,435,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,660
長期前払費用の取得による支出	△9,570
その他	△9,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,766,000
長期借入金の返済による支出	△7,000,000
自己株式の取得による支出	△78,644
自己株式の売却による収入	2,531
配当金の支払額	△96,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,406,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,007,562
現金及び現金同等物の期首残高	2,347,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,355,278

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(千円)

	株主資本					新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
平成20年3月31日残高	1,266,817	1,115,686	1,253,826	△304	3,636,025	—	3,636,025
当四半期連結累計期間中 の変動額							
剰余金の配当			△97,345		△97,345		△97,345
四半期純利益			1,248,983		1,248,983		1,248,983
自己株式の取得(注)1				△78,644	△78,644		△78,644
自己株式の消却(注)2		△90		90	—		—
自己株式の処分		21	△762	3,272	2,531		2,531
株主資本以外の項目の当 四半期連結累計期間中 の変動額						29,282	29,282
当四半期連結累計期間中 の変動額合計	0	△69	1,150,875	△75,281	1,075,525	29,282	1,104,808
平成20年12月31日残高	1,266,817	1,115,617	2,404,701	△75,585	4,711,550	29,282	4,740,833

(注) 1. 平成20年7月8日の取締役会決議に基づき、平成20年12月31日までに950株取得しました。

2. 平成20年8月8日の取締役会決議に基づき、平成20年8月29日に0.86株消却いたしました。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

	前第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
I 売上高	14,812,826
II 売上原価	12,315,703
売上総利益	2,497,122
III 販売費及び一般管理費	1,000,896
営業利益	1,496,225
IV 営業外収益	79,480
V 営業外費用	410,168
経常利益	1,165,537
VI 特別利益	500,000
VII 特別損失	2,510
税金等調整前四半期純利益	1,663,027
税金費用	731,956
四半期純利益	931,070

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

	前第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,663,027
減価償却費	5,987
固定資産除却損	2,510
賞与引当金の減少額	△14,197
退職給付引当金の増加額	6,505
受取利息	△1,788
支払利息	403,552
和解金	△500,000
売上債権の減少額	10,497
たな卸資産の減少額	5,528,568
未収入金の減少額	90,997
仕入債務の増加額	619,189
前受金の増加額	39,775
その他	621,919
小計	8,476,544
利息の受取額	1,791
利息の支払額	△331,811
法人税等の支払額	△8,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,138,172
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△400,000
定期預金の払出による収入	100,000
子会社出資金の取得による支出	△181,500
その他	△40,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△521,500
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の減少額	△150,000
長期借入金の借入による収入	2,280,000
長期借入金の返済による支出	△10,360,000
社債の償還による支出	△400,000
株式の発行による収入	995,634
自己株式の売却による収入	281
配当金の支払額	△86,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,720,087
IV 現金及び現金同等物の増加額	△103,414
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,002,238
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,898,823

6. その他の情報

(1) 販売の状況

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)
(1)不動産販売事業	19,603,921	98.1
(2)その他事業	380,535	1.9
合計	19,984,456	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 契約の状況

当第3四半期連結累計期間の契約実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		
	期首契約残高	期中契約高	期末契約残高
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
(1)不動産販売事業	18,893,205	16,208,950	15,498,235
(2)その他事業	—	—	—
合計	18,893,205	16,208,950	15,498,235

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。